

水戸岡デザイン登場

『広報そうじゃ』の表紙ロゴが、今月号から水戸岡鋭治さんが手掛けたデザインにチェンジしました。



市民の皆さんにプロが作るデザインのよさを「見て」「感じて」もらおうと、総社市報『広報そうじゃ』の表紙ロゴをデザイナーの水戸岡鋭治さんに制作してもらいました。



水戸岡 鋭治

デザイナー

総社観光プロジェクト委員。JR九州の新幹線800系「つばめ」や、猫の駅長で知られる和歌山電鉄の「たま電車」、岡山電気軌道の路面電車に初めて導入された超低床電車「MOMO」のデザインなど数多くのデザインを手掛ける。岡山市北区出身

用。力強い「そうじゃ」の文字と総社市のシンボルである備中国分寺五重塔の姿が組み合わされています。水戸岡さんは、「歴史と



のれん

総社観光プロジェクトで平成22年度から取り組んでいる「まちなみデザイン統一化」。水戸岡鋭治さんデザインの「のれん」が、商店街通りや観光案内所、サンロード吉備路などに掛けられている。写真は、昨年度に制作した妹尾月仙堂（中央二丁目）ののれん

情熱を五重塔とロゴタイプで表現しました。美しい楽しい懐かしい写真の表紙が栄えるようなグラフィックデザインにしました」と、デザインのコンセプトを話しました。

この水戸岡デザインの『広報そうじゃ』が市民の皆さんに親しまれ、今の総社市の動きがよくわかる「読んでもらえる広報紙」になるよう、内容の充実に一層努めていきます。

問い合わせ 企画課広報
広聴係 (☎8214)

10月1日から 市指定ごみ袋 市民の努力で 値下げスタート

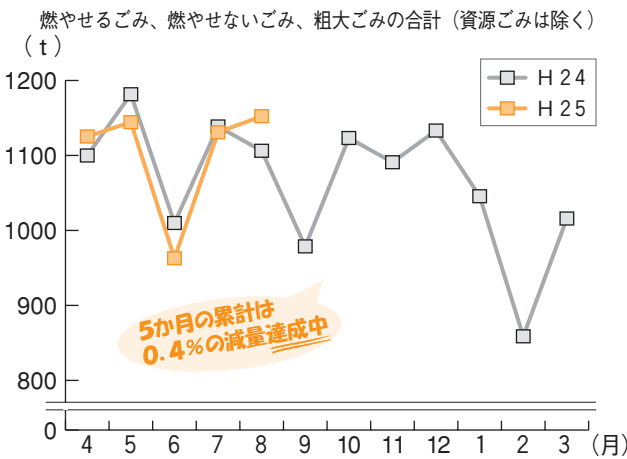
今まで以上にごみ減量を！！

10月から、ごみ袋1組（10枚入り）の販売額を45㊦は230円に、30㊦は140円に、20㊦は90円に値下げします。10㊦については現行（50円）のままです。なお、今回のごみ袋販売額の値下げに伴い、旧価格で購入済みのごみ袋の交換や返金などは行いません。

※注意
ごみ袋の交換や返金を行いません。
旧ごみ袋は10月以降もごみステーションに出せます。

平成22年10月に市指定ごみ袋販売額の「変動相場制」を導入。おおむね3年間の家庭ごみ量の増減を基に、ごみ袋の販売額を見直すこととしていました。今年10月で3年が経過。皆さんの努力により家庭ごみ排出量が、半額前と比べ7.7%減量しました。この実績を踏まえて値下げします。

平成24年度と25年度の家庭ごみ量の比較



さらに3年後も家庭ごみの量により販売額を見直す予定です。平成24年度と比べ、ごみ排出量が減っていればごみ袋の値段を値下げしますが、増えてしまうと値上げしなければなりません。一人ひとりの努力でごみ袋はさらに値下げすることが可能です。今後ともごみを減らしていきましょう。

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎92-8338)

大好評実施中

雑がみはごみ袋と交換

お菓子の箱、封筒・はがき、ラップの芯、レシート、紙袋などの雑がみを市役所や各支所、出張所、東西公民館に持参すると、市指定ごみ袋と交換しています。交換するごみ袋のサイズは、持参した雑がみの量により選ぶことができます。



交換の例：雑がみ2kg＝30㊦1枚または、20㊦1枚と10㊦1枚または、10㊦3枚。雑がみ3kg＝45㊦1枚

燃やせるごみに占める紙類の割合が、昨年6月の29.3%に対して、今年の6月は25.4%に減少しました。ごみを分別し、資源化する意識が高まっています。さらに家庭ごみの量を減らすためにも、雑がみを分別してごみ袋と交換しましょう。